

令和8年度 専攻科 前期 学力選抜試験

受験番号		氏名	模範解答
------	--	----	------

総得点

建築計画 (2の1)

(問1) 次の建築物に関する問いに答えなさい。

- (1) 以下の平面図は、長崎県にある「旧グラバー邸」(1863年)である。  
この建築物の建築様式の名称を答えなさい。(配点2点)

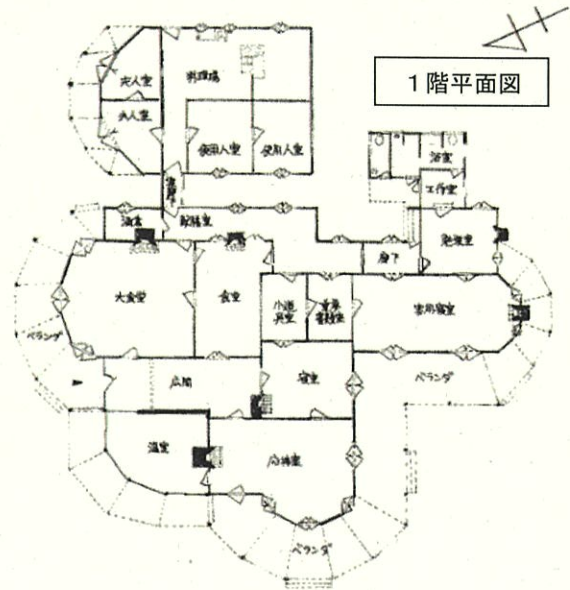
コロニアル (ペランダ・コロニアル) 様式

また、この建築物の建築的特徴を3つ挙げなさい。

(配点2点×3=6点)

- ① 現存する日本最古の木造洋風住宅である。
- ② 「コロニアル様式」の特徴である「ペランダ」が各部屋を巡って配置されている。
- ③ 和小屋や竹小舞を用いた壁や日本瓦を用いている。

その他：アーチ形のスパンドレルの使用、土間と床上の区別がない、返し現在の姿となっていることなど。



問1 (得点)

1階平面図

(問2) 次の建築物に関する問いについて答えなさい。

- (1) 右図は宮崎県都城市に1966年に開館(2007年閉館。2020年解体。)した旧「都城市民会館」である。この建築物を設計した建築家を答えなさい。(配点2点)

(建築家名) 菊竹 清訓

- (2) この建築物は1960年前後に日本の建築・都市計画家グループが開始した建築運動である「メタボリズム (新陳代謝)」の考え方に基づいて計画・設計された。「メタボリズム (新陳代謝)」とはどのような理論か、当時の社会的背景も含めて説明しなさい。(配点6点)



メタボリズム (新陳代謝) は、社会の変化や人口の成長に合わせて有機的に成長する都市や建築を構想したものである。当時の我が国では、高度経済成長という人口増加圧力と都市の急速な更新、膨張への対応が求められていた。従来の固定した形態や機能を支える「機械の原理」から、空間や機能が変化する「生命の原理」が将来の社会や文化を支えると唱え、都市・建築計画分野でも古い細胞が新しい細胞に入れ替わるように、古くなったり機能が合わなくなったりした部屋などのユニットをまるごと新しいユニットと取り替えることで、社会の成長や変化に対応しこれを促進することが構想された。

(問3) 幼児施設に関する以下の問いに答えなさい。

- (1) 「幼稚園」と「保育園 (保育所)」の違いについて、以下の点から説明しなさい。

【 所轄官庁 ・ 入園年齢 ・ 必要諸室 】 (配点9点)

問3 (得点)

保育園：文部科学省管轄。3歳～小学校入学前までの幼児が対象。保育時間は1日4時間が原則。

幼稚園：厚生労働省管轄。0歳～小学校入学前までの乳幼児が対象。保育時間は1日8時間が原則。また、0～2歳児に対応するため、乳児室、ほふく室が設けられ、食事(給食)の提供のため、調理室が設置される。

令和8年度 専攻科 前期 学力選抜試験

受験番号		氏名	模範解答
------	--	----	------

建築計画 (2の2)

(問4) 医療施設に関する以下の問いに答えなさい。

問 4 (得点)

(1) 病院の配置計画における「パビリオンタイプ」の利点及び欠点を説明しなさい。

(配点6点)

利点：敷地内に分棟型で建てられるため、風通しを良くし、棟間隔を空けておくことで十分な採光を確保することが可能である。従って、1960年代までは感染症対策に有効な病院建築の一般的な形とされた。

欠点：病棟や治療棟を長い廊下で結ぶこととなり、物品やスタッフ動線が長くなるため、各部門や他科間の相互連携がしにくい。

(2) 大規模病院における「看護単位」と「ナースステーション」の配置について、建築計画上、留意すべき事項について3点指摘しなさい。(配点6点)

：ナースステーション(NS)は看護単位の中心部に位置させる。ただし2看護単位がある場合は、それぞれの看護単位の端にNSを設置し、夜間は少ないスタッフで管理できるよう配慮する。

：看護単位をL字型とし、その接点にNSを配置することで、NSからの見通しを良くし管理をしやすくする。

：特に1つの看護単位が大きい場合は、サブのNS(ナースコーナー)を設け、そこを拠点としてある程度看護活動が出来るようにする。＝看護動線を短くし、効率的・弾力的な運用ができるよう配慮する。

(問5) 図書館に関する以下の問いに答えなさい。

問 5 (得点)

(1) 図書館の接架・出納方式のうち、「開架式」の利点および欠点を説明しなさい。

(配点4点)

利点：閲覧者が本を自分で書架から取り出して選び、そのまま検閲を受けずに閲覧できたため、利用者にとっては、実物を見ながら本を選ぶことができるので便利である。

欠点：上記が可能である分、本の痛みや紛失事故が多く、管理上の問題点がみられる。

(2) 図書館の計画において「レファレンスコーナー」を設置する際に留意すべき事項を説明しなさい。

(配点4点)

レファレンスコーナーは、利用者が調べものをする、館員が指導・助言・援助をする、資料や情報を提供するための施設・空間や設備を整えたもの。貸出カウンターに隣接して設けると共に、複写機、マイクロフィルムリーダー、コンピュータ等の機器、目録、辞書、辞典などの参考図書群を近接して配置することが望ましい。

(問6) 以下の建築計画全般に関する文章の正誤を判断しなさい。(配点5点(各1点))

問 6 (得点)

① 公共施設の駐車場の計画において、車いす利用者用の駐車スペースの幅を300cmとした。

×

② ホール等の計画の際に設ける「クローク」とは一時的に客の手荷物やコートなどを預かり、管理するためのスペースを指す。

○

③ 「バリアフリーデザイン」における取り除くべきバリアとは、「物理的バリア」「意識的バリア」「文化・情動的バリア」の3つのバリアである。

×

④ 「フリーアクセスフロア」とは、OA機器のケーブル、配線等を床下に納めるために2重の床とした構造である。

○

⑤ 「ユニバーサルスペース」とは、建築家ミース・ファン・デルローエが提案した誰にでも使いやすくデザインされた空間の概念である。

×